

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)：岡山県笠岡市

概要

笠岡市は、岡山県の西南部に位置し、人口約56,000人、面積136km²の都市である。また、笠岡市の特徴として有人7島からなる笠岡諸島を抱えているため、公共交通機関もバスを始めとする陸上交通、旅客船・フェリーなどの海上交通を有する数少ない自治体でもある。陸上交通・海上交通ともに、市民生活を支える移動手段として貴重な役割を果たしているが、赤字を抱える路線・航路が多く、それらは国・県・市での赤字補填に依存している。こうした状況下で、市民生活に欠かせない公共交通を将来にわたって維持していくため、持続可能な公共交通体系の構築を目指すべく調査検討を実施する。

○地域公共交通の概要

- 〔路線バス〕井笠鉄道(株) 笠岡～井原、笠岡～矢掛等18路線
- 〔旅客線〕三洋汽船(株) 笠岡～真鍋島、豊浦汽船(株) 飛島～笠岡
六島航路(有) 六島～真鍋～笠岡
- 〔フェリー〕金風呂丸 北木島～笠岡、大福丸 北木島～笠岡
(有)白石フェリー 白石島～笠岡

○地域公共交通の課題

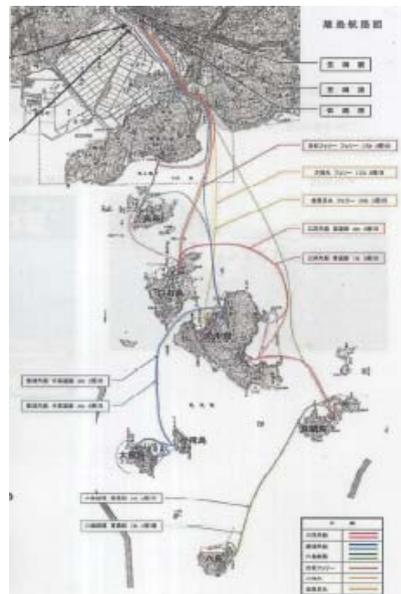
- ・現行路線の代替交通の検討も含め、持続可能なバス路線の確保
- ・利用者の減少、燃油高騰など厳しい状況下での離島航路の維持

○調査事業の主な内容

- ・公共交通の現状及び将来動向調査並びに先進事例調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート、ヒアリング)
- ・公共交通体系の将来像の検討

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- 〔陸上交通〕
現行のバス路線の代替交通として、デマンド交通システムやコミュニティバスの導入など、新たな移動手段を組み合わせた持続可能な交通体系の構築
- 〔海上交通〕
効率的で持続可能な航路体系の提示 など



笠岡市本土と北木諸島を結ぶ航路

経営基盤の強化・安定を図るため、効率的で持続可能な航路体系の検討



▲真鍋島港



▲吉田地区を走るバス

バス事業者が運行する現行のバス路線を見直し、デマンド交通システムやコミュニティバスなどの代替交通による効率的で持続可能な交通体系の検討

笠岡市本土バス路線

